



2017年5月12日

各位

会社名 株式会社三栄コーポレーション
代表者名 代表取締役社長 小林 敬 幸
(JASDAQ・コード 8119)
問合せ先 社長室長 田 山 敬 一
(TEL 03-3847-3500)

中期経営計画に関するお知らせ

株式会社三栄コーポレーションは、2017年度から2019年度までの3年間を対象期間とする中期経営計画を策定しましたので、お知らせ致します。

1、中期経営計画策定と公表の背景

昨年、創業から70周年を迎えた当社グループでは、100年企業を見据え、持続的な成長を遂げるためにより筋肉質な企業体質を目指して参りました。この実現のため、中期経営計画の策定は行っておりましたが、社内目標に留めており、これまで公表は行っておりませんでした。

しかしながら、今後もステークホルダーの皆様のご理解、ご支援を賜るために、今年度から開始する中期経営計画を公表することと致しました。

当社グループの知名度向上や、会社としてのステージを一段上げるためにも、将来的に東証1部への市場変更を目指すべく、この3年間は以下を推進し、企業価値の向上に取り組んで参ります。

2、2017年度から2019年度における中期経営計画の経営方針と重点施策

◇経営方針：

100年企業を目指し、持続的な成長を目指すために、より強固な経営基盤を築く

— 安定的に経常利益20億円以上を達成するための投資を積極的に実施 —

◇重点施策：

(1) 新たなチャレンジ — 商品力とマーケティング力の強化と戦略的投資の実施

OEM事業

- ・新規取引先の開拓・拡大に注力
- ・第5番目の柱になる事業の育成

ブランド事業

- ・マーケティング力を強化し、M&Aも含めた多層的なビジネスモデルを構築

(2) ローコストオペレーションの徹底

- ・PDCAサイクルによる業務改善の徹底
- ・事業の棚卸し（赤字事業の廃止、低採算事業の見直し）

- (3) グループシナジー
 - ・本部機能強化によるグループ力向上
- (4) 持続的成長の実現を目指した人事戦略の推進
 - ・中長期的な視野に立った人事制度改革の推進
 - ・次世代リーダー（幹部社員）育成への取組
- (5) 「攻めのガバナンス」に向けた経営基盤の確立
 - ・業務基盤システムの高度化
 - ・リスク管理態勢の強化

3、対象期間における定量目標

2018 年 3 月期	売上高	500 億円
	経常利益	21 億円
2019 年 3 月期	売上高	520 億円
	経常利益	23 億円
2020 年 3 月期	売上高	540 億円
	経常利益	26 億円

上記他、ROE については 15%の達成を目指して参ります。

以 上